



三木町

No.141

2012.October

# 議会だより

<http://www.town.miki.lg.jp/>



## 9月定例議会

「獅子たちの里 三木まんで願。」で活躍します(長生獅子連)

■ 議案を審議 ..... 2~3

■ 委員会レポート ..... 11

■ 一般質問 ..... 4~9

■ 元気なグループ紹介 ..... 14

6人が登壇・町長に見解を求める

水心黎明流「詩舞同好会」



▲本会議採決の様様

# 9月 定例議会

## 教育委員・固定資産評価委員の人事案件に同意

平成24年第3回定例議会は、9月5日から13日までの9日間の日程で開会された。初日には24年度一般会計補正予算案・介護保険事業特別会計補正予算案と平成23年度各会計決算認定など計24議案が上程され、平成23年度一般会計等決算を審査する特別委員会を設置した。一般質問では、6人が質問に立ち、いじめ対策・白山の活用・三木町の医療問題・高齢者就業等について、町長・教育長の見解を求めた。今期定例会に提案された議案のうち16議案を可決、また4件の人事案件に同意し閉会した。

### 「まんで願。」大幅に増額で討論

平成24年度一般会計補正予算(第3号)(賛成13・反対2)

#### 問 にごわいづくり

事業補助金が追加されているが、経費が膨らみ過ぎているのではないか。

#### 答 町長

当初見込んでいた費用が、企画の中身を充実していただくなどして増えてきた。協賛金などを募り町の負担が増えないように努力する。

#### 反対討論

桑井明人議員

「まんで願。」には昨

年度、今年度で約4

645万円に及ぶ関係経費を組んでいる。

「小さく産んで大きく育てる」という趣旨からは事業費の面から見て、かけ離れた祭りになっていないのではないか。

今回の補正予算600万円は、住民の意向を反映したもとは思えないので反対する。

#### 賛成討論

原田照治議員

今回初めての「まんで願。」ということ

#### 「まんで願。」関係経費

H23 年度基本計画策定等委託料	6,799,000円
H24 年度にごわいづくり事業関係経費	31,455,000円
H23 年度ふれあいまつり実行委員会繰越金	2,196,000円
今回 一般会計補正予算(第3号)	6,000,000円
合計	46,450,000円

で経費もいろいろ掛かる。町の顔になる祭りにしたいので賛成である。

#### 山南地区巡回 コミュニティバス が運行開始

#### 問

山南地区の住民にとって、交通手段の確保は重要な課題である。長年要望してきたコミュニティバスの運行はたいへん重要である。どのような計画か。

#### 答 町長

町民との懇談でも強い要望が出されていた。町所有のワゴン車を活用し、12月から週4日運行を予定している。

#### 介護基盤整備事業 の内容は

#### 問

施設の開設のための補助金とあるが、どのような内容の施設整備か。町独自の補助金も検討してはどうか。

#### 答 町長

第5期福祉計画で予定している、高齢者グループホーム建設のための補助金である。国・県からの補助金制度であり、町からの補助については検討していきたい。

# 議案を 審議

# 持ち込みごみ有料化と 臨時ごみ収集料金改定



**答** 環境保全課長  
現在無料のクリーンセンターへの持ち込みごみについては、県下市町の状況も考慮して、一部有料化するものである。

**問** 隣接の市・町の現状と、現在一般家庭から出されている可燃ごみ、資源ごみはどうなるのか。



▲一部有料になる持ち込ごみ

**消防ポンプ自動車および小型動力ポンプ積載車を購入**

平木の消防ポンプ車が19年、小葺の小型動力車が20年を経過し老朽化したので更新する。

**問** 入れ替えになる車両をインターネットで販売などできないか。

**答** 参事兼総務課長

インターネットで売却された消防車が悪用された事例もあり、考えていない。小型動力車は役場で使い、消防車は引き取ってもらう。

**防災倉庫等を購入**

災害対策として、救急セット・救助工具等、備蓄するため広さ4畳ぐらいの防災倉庫9台購入する。

**問** 備蓄品は、購入するのか。

**答** 参事兼総務課長  
前年度購入品で対応する。

**財産の無償貸し付け**

「かがわたナゴ倶楽部」に「ニッポンバラタナゴ」の系統保全等の用地として、無償で町有財産の貸し付けをする。

**問** 土地の利用形態は。

**答** 生涯学習課長  
湿性植物ビオトープ、保護池、集合公園、緑陰広場、周辺の山林は休憩場として活用する。

**問** 貸付用地のうち田

からため池と、現況と地目が変わることについて問題はないのか。

**答** 産業振興課長  
町が雑種地として



▲無償貸付予定地の現地調査



▲絶滅危惧種「ニッポンバラタナゴ」

地目変更を行い貸し付けることで、農地法の関係はクリアできる。

**三木町営土地改良事業の施工**

池戸・大塚地区の水路改修事業は、事業費400万円で取り組む。

井戸・西土居地区の水路整備工事は、事業費320万円で取り組む。

**三木町水道事業会計  
剰余金の処分**

平成23年度三木町水道事業会計決算に伴う未処分利益剰余金1億6678万4385円のうち、100万円を減債積立金に、2000万円を建設改良積立金に積み立て、残余を繰り越す。

# 一般質問

ここが聞きたい!

## 町政を問う

6人が質問

### 問 学校のいじめの対処は

答 初期対応が第一番である



一般質問  
香西 義典 議員

本町のいじめ事件を未然に防止するためにも、教育に携わる者すべてが事の重大性を深く認識し、いじめの兆候をいち早く把握し、迅速な対応をとる必要があると考えるが。

①いじめの定義をどのように捉えているのか。  
②いじめに対する対処はどうしているか。

に基づいて判断している。  
②いじめが発覚した場合、即教育委員会への連絡はもちろんのことであるが、学校、児童、生徒および保護者が同じテーブルについて徹底して話し合い、解決に全力を尽くすとともに、再発防止に努めている。

度に応じて必要な保護を行い、健康で文化的な最低限度の生活の保障を行い、自立を助成することを目的としているが、本町の考え方は。  
①生活保護を受けている世帯数、人数、保護率の現状は。  
②生活保護制度に関する課題認識についての考えは。

教育長  
①「いじめ」とは、「当該児童・生徒の一定の間関係のあるものから、心理的・物理的に攻撃を受けたことにより、精神的な苦痛を感じているもの」と定義されている。  
小・中学校ではこれ

生活保護制度は資産や能力等全てを活用しても、なお、生活に困窮する方に対し、困窮の程

町長  
②香川県東讃保健福祉事務所とも連携をし、できる限りの情報提供を行うなど、不正受給防止に協力したいと考えている。  
住民生活課長  
①平成24年8月1日

他の自治体では、「ごみの不法投棄対策として、不法投棄監視モニター委員を委嘱するほか、関係機関と連携・協力し、不法投棄情報を得るなど様々な取り組みが進



▲不法投棄の現場

められている。  
本町としては、不法投棄に対する現状認識と監視認識について今後どのように進めていく考えか。

環境保全課長  
不法投棄については、今後とも、香川県東讃保健福祉事務所、高松東警察署、関係団体などと連携し、情報交換や監視パトロール立看板などの設置、広報やホームページによる啓発活動を行っていきたいと考えている。

# 問 町内の景気浮揚策はあるのか

**答** 「獅子たちの里 三木まんて願。」  
を景気浮揚の起爆剤に



**一般質問**  
富田 修司 議員

三木町内の景気の現状を町長は、どう見ているのか。

町長

わが国経済は、円高やデフレ傾向が長期化する中、依然として厳しい状況にあり、本町においても個別には、新たな分野や技術に積極果敢にチャレンジしている企業もあるが、全体としてはほぼ同様な傾向にあり、地域経済の活性化に取り組むことが重要な課題だと認識している。

「町発注の公共工事、物品購入、設計委託業務、修繕」などへの町内

業者の参入状況は。

町長

土木工事は、一企業・二業種のもと、一括下請け防止を図るために施工能力を勘案した上で町内業者を指名している。建築工事においても町内登録業者を全社指名している。

物品購入、設計委託業務についても可能な限り町内業者を指名している。

また、随意契約についても可能な限り町内業者を優先している。

町内業者への発注の考え方は。

町長

今後引き続き発注者として、公平性、透明性、競争性確保に留意しながら町内業者の受注機会確保に努める。

## 白山の教育利用を

子どもたちの遠足等にもっと白山を活用してはどうか。また、山頂から三木町全体を把握し、これを防災教育に役立てることができないか。

教育長

白山は讃岐七富士の一つであり、山頂からの眺望は格別で、誰もが感動を覚えるものである。

に残る素晴らしい「原体験」になるのではないかと思う。

## 白山を三木町観光の目玉に

讃岐富士の飯野山は、丸亀市において観光誘致を積極的に取り組んでおり、今回、台湾よりの観光ツアー350人を誘致し市長が歓迎セレモニーを開いた。

三木町も東讃富士である白山をもっと積極的に売り込むべきでは。

産業振興課長

白山は三木町のシンボリックな山であり、その景観は讃岐富士と称される飯野山に引けを取らない優美さがあり、また、地元の方々には健康増進のためウォーキングの場所として親しまれている。



▲山頂より讃岐平野を一望

観光資源としての要素も備えていると考えられるが、現在の状況で来訪者が増えれば駐車場やごみの問題、また、周辺住民への配慮の問題も懸念されるので、慎重に検討をしていきたい。

# 問 町南部地域の

## 交通弱者対策は

### 答 12月からコミュニティバスの試験運行を



一般質問  
原田 照治 議員

昨年、町南部地域の住民を対象に公共交通に関するアンケート調査を実施したと聞いたが、その結果概要について問う。

#### 町長

アンケートはコミュニティバスの終点より南の地域の445世帯を対象に、公共交通の必要性など13項目について昨年実施した。

その主な結果は、

- ①外出目的は、買い物と通院が多い。
- ②公共交通の必要性については、84パーセントの人が必要と答えた。
- ③どのような公共交通



▲山間部を走るコミュニティバス

通を望むかについては、運行路線上でどこでも乗れるバスが78・8パーセントを占めた。

#### 町長

本年12月をめどに山間部へのコミュニティバスの試験運行を始めたいと考えている。

今回のアンケート結果を踏まえての交通弱者対策の具体的な案を問う。

このコミュニティバスは、山間部はどこでも乗り降りができるフリー乗降制での運行を計画している。

運行は奥山地区と町中央部、小蓑・朝倉地区と町中央部を結ぶ2路線で、それぞれ週2日、1日3便を予定している。

町南部地域へのコミュニティバスの試験運行は、いつまでの予定なのか問う。

#### 町長

試験運行は、来年9月末までの予定で、その間の利用状況や運行上の問題点などを分析した上で、10月から本格運行に切り替えたいと考えている。

#### 瀬戸・高松広域定住自立圏構想を問う

高松市を中心市として取り組んできた瀬戸・高松広域定住自立圏構想は、さぬき市と東かがわ市が新たに加わり、3市5町に拡大した。東讃圏域での連携、振興、協力を模索すべきでないかと思うが、定住自立圏の新しい構想

や今後展開していく事業などについて問う。

#### 町長

さぬき市と東かがわ市が加わることによりこれまで以上に生活圏としての質や対外的魅力の向上につながるものと考えている。

自立圏構想は、中心市と周辺市町がそれぞれ一対一の立場で取り組める事業を選択するもので、周辺市町同士が協力して行う取り組みは想定されていない。

今後においては、高松市を含めた上で、東讃圏域として発展が可能な施策について共に研究を行い、圏域の振興につなげていく必要があると考えている。

#### いじめ問題を問う

滋賀県大津市や大阪府寝屋川市などで発生

した「いじめ」を起因とする事件は、他県の出来事ではあるが、どのように受け止めているのか問う。

#### 教育長

「いじめ」は全ての学校職員が、自らの問題として取り組むべき重要課題であり、実態把握、早期発見・解決は、学校、教育委員会に課せられた大きな責務であると重々承知している。

町内における「いじめ」の実態、状況をどのように把握しているのか問う。

#### 教育長

町内小・中学校における実態や状況の把握は、不登校やけんかを含めて、各校長・教頭や生徒指導担当から随時状況報告を受けるとともに、校内研修や指導体制の確認をしている。

# 問 町民税負担の軽減を求める

## 答 救済措置として適用されてきた



一般質問  
渡辺 達実 議員

「町長において必要がある」と認める者に対して、町民税を減免する」と条例に記されている。

町内においても、事故やけがなどに伴い、生活が困窮したり、失業に伴う収入の減少など、厳しい生活を余儀なくされている人もいる。この制度がどのように適用されてきたのか。

### 税務課長

税の減免は、徴収の猶予や納期限の延長を行なってもなお納税が困難であると認められる人に対して、救済措置として適用されることとなっている。一律に減免することは困難であ

る。この間、問い合わせはあるが、就労の見込みや預貯金などの実情を聞き、納期限の延長などで対応してきた。

### 交通事故対策の早期整備を求める

短期・中長期的な通学路の改善計画や改善は進んだのか。この間の改善計画や改善状況を尋ねる。

### 教育長

改善計画に基づき、8月中旬に教育委員会、小中学校・各PTA、警察などが集まり通学路の点検調査を行った。その結果を県

教育委員会や各団体へ報告した。併せて改善を具体化していくよう指示した。11月末に改善状況を県教育委員会へ報告することになっている。計画の内容は横断歩道の設置や信号機の設置および通学路の見直しなどであった。今



▲安全対策としての側線表示

回の緊急点検を機会に、まず取り組める所から改善を進めている。

### 太陽光発電システム設置補助金制度の今後の方針を問う

原子力発電の是非が問われている。多くの国民は将来のエネルギー政策がどのようになっていくのか大変心配している。再生可能なエネルギーの利用は、期待されている。今後の施策に反映するよう強く求める。

### 町長

本年4月より制度を開始したが、6月末で予算額500万

円に達し受付を終了した。

本年度の追加予定はないが、好評であったこともあり、来年度について予算編成時期までに検討していく。

### 防災放送等の改善を求める

防災無線放送や防災ラジオが十分に聞き取れない地域への早急な対応を求める。

### 参事兼総務課長

緊急時の情報伝達手段として、防災無線放送、防災ラジオ、防災行政メール、町ホームページなど様々な手段を使い住民への情報伝達率100%をめざしている。

今後とも、防災ラジオやアンテナの購入、防災行政メールの登録など周知徹底していく。



▲屋外放送中継局

# 問 地域医療崩壊を防ぐには

**答** 住民への医療啓発活動を行い意識の改革を促している



一般質問  
高藤 周介 議員

ない。

採算および跡継ぎの有無や事故で、医療施設が閉鎖の場合、医療施設を町で借り上げ、施設を再利用する方法と患者の引継ぎに、跡継ぎ制度の導入を。

地域の住民によって地域医療を育て守る活動を促進し、医療費を削減するために住民への啓発活動を行っているか。

高度医療にはおのずとリスクが内在し、産科医療と同様に患者指導が大切で、妊娠する前、結婚する前、たとえば中学・高校生の時期に指導できないか。

はぐくむ必要性を伝える。

ハイリスク出産はハイリスク新生児の増加を招く。このようなリスクは妊婦健診を受診し必要に応じて適切な指導・助言を受けることで軽減が期待できる。妊婦受診率を高めるための施策は。

町長

民間事業施設への公費投入の是非、国・県の補助金制度の有無を調査する必要がある。

町長

国保加入全世帯にリーフレットを配布し、かかりつけ医についてや、休日夜間診療の受診方法など医療費節約の方法を周知し、重複受診は、保健師が家庭訪問し、保健指導をしている。

町長

中学三年生に「思春期保健授業」として、保健師・助産師が性教育授業を実施。命の大切さを基本に、性感染症・人工中絶の実態・子宮頸がんワクチンについて伝えている。今後は授業の中で、命を授かったときは妊娠初期に母子手帳を申請し妊婦定期健診を受け、命の大切さを

町長

本町では昨年度198件の妊娠届けがあり、その時に母子手帳を交付している。手帳交付時には、妊娠健康診査費用の助成券を14回分交付している。窓口では保健師または助産師が直

町長

医療機関と患者本人の問題であり、町の弁護士派遣は、でき

モンスターペイシエント（モンスター患者および家族対策は

今後は、健康相談、健康教育等を通じ啓

発に努める。



▲地域に根ざす医療スタッフ

面接して、保健指導を行い、受診の必要性や受診方法を伝えていく。若年夫婦・高齢者出産などの希望される方には家庭訪問・両親学習・妊婦

相談等も実施し、安心して妊娠期を過ごせるようサポートしている。

## 問

高齢者が仕事を続けることは長寿と収入の両面で重要では

## 答

シルバー人材センター・町発注事業を通じ就労を支援する



一般質問

十川 治郎 議員

第5期三木町高齢者福祉計画の基本理念「健康現役」とは。

### 健康福祉課長

高齢者一人ひとりが「自分の健康は自分で守る」という意識を持って一生にわたって自発的な健康作り活動(スポーツ・生涯学習・シルバー人材センターでの活動等)を続ける。そして長い期間健康な「現役」生活の実現をはかるというもの。

### 長寿と就業の相関関係について問う

健康現役には特に仕事の部分が大切と考え



▲まだまだ現役

る。そこで長寿と就業の関係について長野県の例をあげる。  
(毎日新聞5月5日付)  
・2010年度年齢調整死亡率が最も低いのが男女とも長野県。(特に長野県の男性は5年連続1位)  
その要因として統計的に挙げられるのが高齢

者の就業率の高さ。  
長野県は農業従事者が多く、体を動かして働き、それが生きがいや収入につながっている。  
(四国新聞1月1日付)  
・65歳以上の高齢者就業率全国1位。  
総農家数全国1位。  
シルバー人材センター登録者数の就業率

全国1位。  
・75歳以上の1人あたり医療費、全国最低レベル。  
「これについての長野県健康福祉政策課の見解」  
いくつかになっても自分の役割があることが高齢でも元気な原因では。  
三木町においても長野県のような高齢者の就業率の高い社会の実現をめざしては。

### 健康福祉課長

今後においても高齢者が培ってきた経験・知識・技能を生かせるようシルバー人材センター事業の運営を支援していく。



▲働く元気なお年寄り(シルバー人材センターから派遣)

### 生活費の補充などの収入を必要とする高齢者の就労支援は

別の観点からこの問題について尋ねる。  
健康で働ける能力と意志があり、収入を得る切迫した必要性があるお年寄りへの就労支援の考えは。

また、農業・林業などの主な働き手は65歳以上の高齢者であり、そういう人々がより多くの収入を得られるような方策を含め三木町の対策を問う。

### 町長

シルバー人材センター事業を通じた就労支援・町事業の発注に当たっても、可能な限りその活用を図りたい。

三木町の重点課題として位置づけ、できることから取り組むよう要望する。

### その他の質問

- 自治会館(集会場)の耐震診断補助。
- 新川河川改修事業。
- 三木町の婚活(結婚活動)について。
- 地方交付税遅配の影響と対策。

# 23年度決算まとまる

## 決算の状況

		予算現額	決算額
一般会計	歳入	100億9,348万1,000円	99億1,362万8,766円
	歳出		92億9,374万 658円
国民健康保険 事業特別会計	歳入	30億2,583万1,000円	31億 716万2,879円
	歳出		29億5,078万4,855円
簡易水道事業 特別会計	歳入	1,980万円	1,797万8,771円
	歳出		1,699万8,214円
農業集落排水 事業特別会計	歳入	9,487万5,000円	9,694万4,316円
	歳出		8,773万5,923円
介護保険事業 特別会計	歳入	23億7,223万3,000円	23億5,690万9,870円
	歳出		23億2,612万1,468円
公共下水道事業 特別会計	歳入	1億4,942万円	1億5,145万 5円
	歳出		9,474万6,189円
介護予防サービス 事業特別会計	歳入	2,435万3,000円	2,483万9,039円
	歳出		2,192万3,743円
後期高齢者医療 事業特別会計	歳入	3億 81万4,000円	3億 134万9,067円
	歳出		2億9,674万8,120円
水道事業会計	収益的収入	5億 306万3,000円	5億 734万5,617円
	収益的支出	4億7,968万8,000円	4億4,832万4,196円
	資本的収入	8,571万9,000円	8,241万 348円
	資本的支出	1億7,490万5,000円	1億5,384万 140円

平成23年度の一般会計、各特別会計および水道事業会計の決算がまとまり、監査委員の意見書とともに、各決算書が9月5日の本会議に提出された。これを受け、決算特別委員会を設置した。10月中旬より本委員会にて、各予算が適正に執行されたかどうか、また、費用対効果などについて審査する。

# 決算特別委員が決まる



白井正治 委員長



富田修司 副委員長

委員 委員 委員 委員 委員  
高藤 十川 藤井 村松 渡辺  
周介 治郎 匠 修 達実

# 委員会 レポート

## 総務建設

8月開会

陳情書を審査  
継続審査とすべき  
ことに決定

本年度に策定する  
町都市計画マスター  
プランの中で、公園  
整備を災害対策とあ  
わせて計画策定して  
いく。

**問** 既存の公園遊具の  
破損等についての対応  
は。

**答** 産業振興課長  
昨年度に遊具の点  
検を行い、安全基準  
を満たしていない物に  
ついては撤去、取替  
え、修繕を行う。

## 所管事務調査 三木町の危機管理

大震災や台風、豪  
雨などに対する災害、  
防災対策を中心とし  
た町の防災体制を初  
め、情報伝達の充実、  
ライフラインや避難  
場所および医療の確  
保、防災訓練などの  
うち、水防、風水害に  
ついて調査した。



▲河川監視カメラ・水位表示(ほたる橋)

**問** 風水害は、情報を  
早く知る事が被害を少  
なくすることから、住  
民への情報伝達方法を  
工夫すべきでは。

**答** 参事兼総務課長  
防災ラジオ、メール  
等を通じて迅速に配信  
できるように考えたい。

## 教育民生

8月開会

陳情書を審査  
不採択とすべきこと  
に決定

継続審査となつて  
いた「新システム保育  
制度改革に関する要  
望」を審査した。

**問** 町内の私立保育所  
への町の支援は。

**答** 住民生活課長  
従来どおり保育所児  
童運営費は支出する。

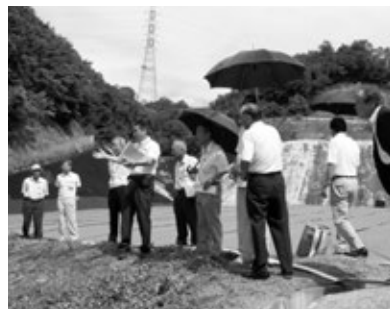
**問** 0〜2歳児を含む  
「認定子ども園」構想は  
時期尚早では。

**答** 教育長  
統合幼稚園は0歳  
からでなく、3歳から  
の受け入れとしたい。

陳情書に記載されて  
いた前記2点の問題は  
解消されたものとし、全

会一致で不採択にすべき  
こととした。

町一般廃棄物最終処分場  
埋立地の雨水対策事業に  
ついて現地を調査



▲津柳の最終処分場

**問** シート張りの目的は。

**答** 環境保全課長  
浸出水を減量化し、  
処理費用を減らす目  
的で、盛土整地と全  
面にシートを張った。

**問** 課題として、介護事業  
費の増大とともに介護保  
険料も上昇を続け、町民  
の負担増となっている。

所管事務調査  
老人福祉施策

**問** 要介護者数と費用  
の増加傾向は。

**答** 健康福祉課長  
平成12年771人  
であった要介護者数  
が、23年は1486  
人。平成12年9億1  
600万円であった介  
護給付費が、23年は  
22億2800万円と  
大幅に増加した。

行財政改革  
8月開会

議会改革として、  
次の4点について調査  
を行った。

- ① インターネットを活  
用した会議録の公開
- ② 議会基本条例の制  
定
- ③ 本会議場の質問席  
の改善
- ④ 通年議会(二年通し  
て会期中)

本委員会としては、  
取り組んでいる市・町・  
村への視察も含め検討  
していくこととした。

## 下水道推進

8月開会

整地された終末処  
理場建設予定地を現  
地調査したのち、この  
間の町の取組み状況  
の報告を受けた。

処理方法の変更に  
よる処理施設の必要面  
積が少なくなることか  
ら余った用地の補助金  
返還問題が生じてい  
る。補助金を有効活用  
できる方策を検討して  
いる。周辺住民との話  
し合いは進んでいない。

**問** 設計等の準備は進  
んでいるのか。

**答** 上下水道課長  
平成25年度中に処  
理場建設に着工し、平  
成27年度中に供用を  
開始するため、全体像  
を把握する基本設計  
と各施設の詳細設計  
となる実施設計を業  
者に委託し、事業の推  
進を図る予定である。

# 人事

## 固定資産評価

### 審査委員会委員

佐野和男氏を選任に同意



初就任  
大字池戸（60歳）

## 固定資産評価

### 審査委員会委員

脇博文氏を選任に同意



初就任  
大字鹿庭（62歳）

## 教育委員会委員

白井悟氏を任命に同意



平成16年10月就任以来、3期目  
大字平木（68歳）

## 教育委員会委員

市川隆義氏を任命に同意



初就任  
大字池戸（58歳）



## 請願・陳情のゆくえ

平成24年陳情第1号（平成24年2月22日受付）

子ども達の生き活きとした活動環境の整備と場の提供を求める陳情書

### 要旨

「子ども達が生き活きと活動できる場と公園遊具の整備を要望」

木田郡三木町大字鹿伏335番地4  
地域で子育てを考える会代表 富田加織 賛成者署名延べ1242名

継続審査

平成24年陳情第2号（平成24年3月5日受付）

新システム保育制度改革に関する要望書

三木町私立認可保育所所長会  
大宮保育園園長 貞中明美 他4園・所長

9月5日 不採択



## 意見書を採択



議員から次の意見書案が提出された。

審議の結果、満場一致で可決され、内閣総理大臣をはじめ、関係行政庁に提出し、その実現を要請した。

地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書

### 提出先

内閣総理大臣・総務大臣・財務大臣・国家戦略担当大臣・農林水産大臣・環境大臣・経済産業大臣・衆議院議長・参議院議長

## 契約しました 第3回 定例議会（9月5日 可決）

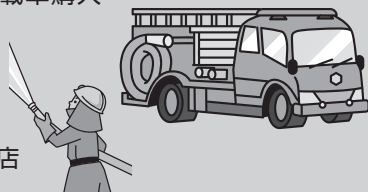
事件名 平成24年度消防ポンプ自動車（CD-I型）及び小型動力ポンプ付積載車購入

契約方法 指名競争入札

指名業者 5社

契約金額 29,872,500円

契約の相手 株式会社 岩本商会高松支店



事件名 平成24年度防災倉庫購入

契約方法 指名競争入札

指名業者 5社

契約金額 15,738,450円

契約の相手 ミドリ安全高松 株式会社

# 追跡 レポート

どう  
なっとんは？



▲一昨年山大寺で開催された第19回獅子舞フェスタ

## 新イベントの概要は

昨年中止された獅子舞フェスタにかわる「獅子たちの里 三木まんて願。」はどんな祭りか。  
24年3月 一般質問

## 町長答弁

行政主体から住民参加型のまつりに変わる。

### こうなります

住民参加で町の中心部に復活開催



▲9.2開催の県総合防災訓練(高松東ファクトリーパーク)

## 災害時の備えは

町災害本部・避難場所に災害緊急トイレの設置を。  
24年6月 一般質問

## 町長答弁

9カ所の防災倉庫に簡易トイレを配備している。

### こうなります

本年度設置計画の防災倉庫にも順次簡易トイレを配備していく。



▲防災倉庫内に配備されている簡易トイレ

# 元気なグルーブ紹介

## 水心黎明流「詩舞同好会」代表 溝淵明美

「詩舞って?」と聞かれることが時々あります。詩舞は詩吟に合わせ、袴姿で扇子を手に優雅に舞います。

そこで、詩吟の作者が詠んだ時節とか心情を少しでも理解できるようにとの思いを込めて、水心黎明流(川原靈宗宗家)に振り付けをしていただいています。

その振り付けを私たちの師匠である永山靈訓先生の指導でがんばっている同好会です。

今年、七月は井戸公民館、十月はアイレックス、十一月は三木町文化祭、翌年二月はアルファあなびぎホールで私たち同好会にとって大切な発表会の舞台です。

発表会前になると、練習日が週一日だったのが

週二日、三日になることもしばしば!!

それでもみんな一生懸命、目を輝かせて練習に励んでいます。

最近練習しているのは、十月八日のアイレックスでの中四国大会のために「谷懐古」と十一

月三日の三木町文化祭には「名槍日本号」「東風吹かば」を猛練習中です。

今後も、永山先生を中心に活動していきたいと思えます。興味のある方は、気軽にのぞいてください。

### 【練習日】

毎週火曜日19時

### 【場所】

井戸公民館



▲練習に励む会の面々

# 議会叩動き

- 7月9 議会広報編集委員会
- 12 議会広報編集委員会
- 18 議会全員協議会
- 19 宮城県大和町議会研修来町
- 23 香川県広報発行町議会連絡協議会定例会及び研修会
- 8月7 議会全員協議会
- 21 教育民生常任委員会
- 23 総務建設常任委員会
- 28 議会運営委員会
- 行財政改革推進特別委員会
- 29 下水道推進特別委員会
- 9月5 第3回定例議会開会(議案の上程、質疑) 議会広報編集委員会
- 6 総務建設常任委員会
- 教育民生常任委員会
- 11 本会議(一般質問) 議会全員協議会
- 13 本会議(議案の質疑、討論、採決、追加議案の上程、採決)閉会 議会全員協議会
- 25 議会広報編集委員会
- 10月5 議会広報編集委員会

## お気軽に議会を傍聴しませんか

次の定例議会は、12月初旬の予定です。

●お問い合わせは、議会事務局へ  
☎(087)891-3311

# 編集を終えて

編集を終えて



議会だよりを編集している9月中旬ごろは、連日尖閣諸島の問題で民主党・自民党の党首選もかすんでいた。

テレビで放映される日系スーパー・工場・日本車の破壊される姿は、日本人の常識では考えられないものでした。

今までもとは違う大変な時代の到来に思いをはせながらも、猛暑のあと必ず訪れる秋の冷気に元気をもらっています。

(十川治郎)

【議会だよりは私たちが編集しています。】

- |       |       |
|-------|-------|
| 編集委員長 | 富田 修司 |
| 副委員長  | 渡辺 達実 |
| 委員    | 香西 茂知 |
| 委員    | 香西 義典 |
| 委員    | 村松 修  |
| 委員    | 藤井 匠  |
| 委員    | 十川 治郎 |
| 委員    | 高藤 周介 |